

下野コミュニティエフエム第10回放送番組審議会議事録

| | |
|----------------------------|-------------|
| 開催日時：2022年2月 | 開催場所：(書面開催) |
| 出席委員：猪瀬・小島・小谷野・鈴木・根橋・本橋・山内 | ：7名 |

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全7名のうち7名の出席をもって会の成立とし、文書送付・回答による開催とした。

1. 報告事項

・運営状況

事業者：

- ・開局2周年を迎え、リスナーも増えていますが、開局直後からのコロナ禍は収まらず、特に加盟店は低迷が続いており依然厳しい状況です。
 - ・ただ、この状況下でも番組提供は引き続き好評をいただいております。1月から一部増枠や、現在交渉中ですが6枠が4月からも継続いただける見通しとなっています。
 - ・また、サッカーJリーグ栃木SCの試合の実況中継を、スポンサー次第ではありますが、今シーズン実施したく各方面に働き掛けています。
 - ・4月には番組編成改定を控え、現状維持を基本としながらも審議会等のご意見を踏まえ、より良い番組をお届けできるよう検討してまいります。
- (ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部管理責任者)

2. 審議事項

・議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。

※2022年1月10日放送「トワイライトアベニュー」

鈴木委員：

- ・パーソナリティの語調・スピード・トーン・話しぶり等がソフトで聞きやすく、親近感がわきます。幅広いリスナーの共感が得られるのではないかと思います。
- ・番組全体を通して、「成人の日」をテーマとして種々の話題が盛り込まれており、興味深く聴くことができました。
- ・ヘッドラインニュース、ワールドニュース、ニュースのそれぞれの内容は地域区分ごととは思いますが、同一内容のものもあり、内容の選別も必要な気がします。また、ワールドニュースの出所はどこなのでしょう。他のニュースは新聞社名が示されていました。
- ・「天平の丘マラソンオンライン」、「下野市の誕生日」等地元ならではの話題が多く、さらに実体験も踏まえて放送されていたので興味深く聴けました。今後とも、地元ならではの話題が発掘されることに期待しております。
- ・懐かしい曲も含めて楽しく聴くことができました。曲名・歌手等の紹介は、曲の前後ともにあるとより聴きやすかったような気がします。

事業者：

- ・ヘッドラインニュースとニュースは各新聞社が発行する栃木県内の記事に限っており、優先順位を下野市内・隣接市町・県内全域としている。ヘッドラインニュースはその日のニュース記事の冒頭部分のみ読み上げ、後のニュースでは全体を読み上げていて、記事は原則同一になる。内容を選別した方がよいとの指摘に関しては、記事の数が選別するほど多くないのと、番組の準備にそこまでの時間をかけられない等の理由から、前述の地域による優先順位を付けるにとどまっている。
- ・ワールドニュースはインターネットに掲載されている一般的な記事から引用しているが、ニュースというより話題という位置づけで、出所は特に定まっていない。
- ・楽曲名等の紹介は、前後どちらか1回は必ず入れるよう規定し出来る限り前後に入れることとしているが、番組の進行や演出・時間制約等の事情もあり、前後でない場合も多い。意見を参考に今後の課題としたい。

山内委員：

- ・全体的にパーソナリティの滑舌が良く、大変に聴きやすく感じた。
- ・ワールドニュースや今日のトレンドの選出テーマが、目の付け処が良く面白い（ネコバンやホットペッパーソースなど）と感じた。
- ・以前の審議会でも話題に上がった新型コロナウイルスの感染防止対策の情報をしっかりとやっているのは良いこと
- ・天平マラソンオンラインにパーソナリティ自ら参加し、久しぶりの走りで不安なところなど、市民の共感を得られそうで身近に感じてもらえているのだろうなと思った。
- ・コーナーによっては、変わった知識や雑学が得られたり、テーマを掘り下げたり、楽しく聴かせていただいたが、テーマ選びは大変だと思う。偏りすぎず、今後もいろいろな題材を用意して行ってほしいと思った。こらからも頑張って楽しい番組を作ってください。

小島委員：

- ・パーソナリティの番組進行は、安定性があり、かつ滑舌も良かった。
- ・番組中、曲が7曲あったが、曲①、曲②は、曲前に曲の紹介がなく、曲が終了してから曲の紹介があった。曲③は前後の紹介があり、曲⑤は曲後に、曲⑥は曲前のみ、曲⑧、曲⑩は前後に紹介がありました。統一した方が聞きやすいと思います。
- ・タバスコが商品名で、NHKの料理番組でホットペッパーソースと紹介していたという情報は、意外性があり、面白く聞いた。

事業者：

- ・楽曲の紹介については鈴木委員からもご意見をいただいたが、参考にさせていただく。

本橋委員：

- ・パーソナリティについて、明るく歯切れの良い語り口調でとても聴きやすいと思った。
- ・番組内で取り上げた話題などについて、1月10日が成人の日であったことから成人式の話を取り上げている。1月10日が語呂合わせで110当番の日であることを取り上げている。1月10日が下野市制誕生の日であることを取り上げている。
- ・旬のトレンドについても、タバスコは商品名であり製品名はホットペッパーソースという物であることなどを取り上げており、役に立つ情報で良かった。しかしもう一つ、1月10日は栃木県が制定した干瓢の日であることが話題としてなかったのは残念でした。干瓢は下野市の特産品であり、干瓢の元は夕顔の実です。FMゆうがおという愛称とも繋がる話題だと思う。干瓢の日の由来は干瓢の干の字を分解すると「一」と「十」になることから1月10日を干瓢の日と制定したそう。
- ・曲目について、曲①オープニングトークの成人式の話から学生時代を連想して「ハイスクールララバイ」。曲②アメリカでソファに猫が隠れているのに気付かずリサイクルショップに出してしまったという話題から「ほっとけないよ」。曲③トレンド「必殺仕事人」の話から「鏡花水月」。曲④「ダイナマイト」。曲⑤「天平の丘マラソン」でパーソナリティが走るという話題から「カントリーロード」。曲⑥今年成人式を迎える人が2001年生まれということからその年のヒット曲「僕の背中には羽根がある」。曲⑦北九州市の派手な衣装の成人式から連想して「ふりそで一しょん」。曲⑧「ダイナマイト」が英語の歌であることから、「カントリーロード」はオリビアニュートンジョンのものを選曲した方が良かったと感じた。

事業者：

- ・「干瓢の日」に限らず、番組で採り上げる情報や話題は、前後の番組でも同様の内容を採り上げることが少なくなく、特に「何の日」的な話題は朝の番組から採り上げることが多いため、各番組で繰り返しくどくならないようあえて避けた可能性がある。
- ・選曲に関してはパーソナリティの年齢層や感性による部分が大きいので、今後の参考とさせていただく。

小谷野委員：

- ・5時からの番組で、1日の終わりに楽しめる話題とニュースなどを分かりやすく、丁寧に話されていたと感じました。この日は成人式の日で、前日に市の成人式が実施されたことも伝えてくれましたが、その様子などを加えていただければ、なお一層良かったのではないかと思います。
- ・フリートークで、「天平マラソン」にパーソナリティが参加している状況、感想を伝えてくれ、またリスナーからの応援メッセージなどもありPRに繋がっていると感じました。パーソナリティも市内のイベント等に積極的に参加したり取材をしていただいています。今後も地域のイベント情報、身近な話題を放送していただけるようお願いいたします。

根橋委員：

- ・番組冒頭のヘッドラインニュースと最後のニュースとの関係について、両方共に栃木県内ニュースを取り上げていたがヘッドは要約で最後は詳細に説明で両者の関係が良い
- ・ワールドニュース(猫バン)・日替わり①当日のツイッター上位話題・日替わり②おかしょうおかしょうだいで北九州の派手な衣装話題と自分の成人式との思い出の織り交ぜと、その年ならではの話題にJRスイカを取り上げていたが話題豊富で良かった。
- ・日々話題選定のご苦労がありそうだが内容視点は雑学になり非常に面白く良かった。
- ・フリートーク①で、天平オンラインマソに関し、今日から開始した自身の体験を通じ参加者への働きかけは共感すると感じた(走る息があがるコメント等から、走る姿が想像出来た)。
- ・フリートーク②で、当日は2006年に下野市が生まれた日で、市の歌(ポップバージョン)が流れたが、市の歌が有るとは全く知らなかった。啓発発動がもっと必要ではないか。
- ・トーク内容後の選曲がトーク内容と関連あり、良かった。

事業者：

- ・市の歌(「下野市の歌」)については、毎日夜9時55分に解説入りで独唱バージョンを、朝の放送開始時に合唱バージョン、夜の放送終了時にも独唱バージョンを放送している。

猪瀬委員：

- ・当番組において、放送番組編集基準に抵触する事案は見受けられないと思う。
- ・感想として、家路につくせわしい時間帯ではあるが、パーソナリティのテンポ良い声は、心地よく耳に入って聴きやすかった。一方「シモパカポスター展」の案内は、高校生が具体的にどのような想いで制作した作品か、プロセスの説明を加えたほうが、リスナーは理解しやすかったのでは。

事業者：

- ・情報については時間の関係もあり概要のみにとどまることもあるが、これについては、他の番組で詳細に採り上げていることもあり、案内のみになったと思われる。

・議題②…その他について

小島委員：

- ・番組審議委員の電子メール番号を収集して有効に活用すべき。公表してもよいかの確認だけすればよいだけの話。
- ・下野市教育委員会と協議し、下野市内の小・中学校の児童生徒にFMゆうがおに積極的に出演してもらいたい。学校サイドでも地域に開かれた学校づくりをしている。子どもが参加することが聴取率アップにもつながる。

事業者：

- ・各委員への通知等の電子メール化については他の委員からも指摘があり、検討したい。
- ・市内小・中学校の児童・生徒の出演については市担当課が教育委員会と以前協議したが、各校の足並みが揃わず難しいと聞いている。当局単独で働き掛けるという選択肢もあるが、地域や各校のバランスを取ったり出演の時間帯だったり出演時に保護者の同伴が必要等、課題が多く現時点では現実的でない。今後状況を見ながら再度検討したい。

小谷野委員

・チェックマガジンが他の番組でも度々放送されておりますが、加盟店が少ない状況であります。コロナ禍でのスポンサー獲得は厳しいとは思いますが、今後も市内の事業所にご協力いただけるようお願いいたします。

根橋委員

・道路交通情報で、「とちぎ博橋」の呼称が、とちぎハクキョウ→とちぎハクバスに変更されている(鈴木さん指摘事項の改善徹底がされている)。

・高校生を番組に参加させる取り組みの募集を行っているが、これは貴社独自の企画か。放送への興味やインターンシップ的な発想で今後の職業選択への一助になりそうで、高校生の参加機会は参加した高校生には貴重な経験で今後に向け非常に有益。以前小島さんから意見があったがその時は学校側との調整は…とかと記憶しているので、このような取り組みは興味のある若い世代を取り込む良い企画だと思う。

・3ヶ月毎の発刊される冊子内容・他のコミュニティFMとの取り組み・半期毎に変化する番組編成や今回のような企画含めチャレンジする様子は非常に好感。また審議会での指摘事項への対応もしっかりされており、審議会の意味を実感。それに対し、市側の関りがほぼ変化ないのは何故か。

事業者：

・「とちぎ博橋」については情報提供業者の確認が取れたため昨年9月より変更している。
 ・高校生を番組に参加させる企画は当社独自のもので、学校単位でなく個人の有志の形で学校等を通さずに募集し参加させる。下野市の広報協力もあり若干名の応募が現在あり、4月の放送開始に向けて準備を進める。他例のようにゲスト的や不定期の放送ではなく、高校生だけで制作し他の番組と同じように毎週の放送を実施する。

鈴木委員：

・4月の番組編成改定について具体的に検討されている点について伺えればと思います。
 ・栃木SCの実況中継は、興味深い番組になるのではないのでしょうか。スポンサーの関係もあるとのことですが、他の地域FM局と共同でも実現していただければと思います。
 ・『放送番組編集基準』『放送番組編集基本計画』の同封有り難うございました。細部にわたって規定されているのですね。ところで、各番組は、情報・報道・教養・教育・児童・娯楽のどこに位置づけられているのでしょうか。また、各パーソナリティの方々との方針共有はどのような形でなされているのでしょうか。

事業者：

・今回の改編では、番組構成の見直しと、番組担当者(パーソナリティ)の契約更新に伴う入れ替え、一部番組の廃止・新設を行う。番組の新設については、初の試みとして金曜の夜間に生番組を実施して聴取者の一層の獲得を図る。また、前述の通り高校生が参加する番組を土曜深夜に実施する。

・栃木SCの実況中継については、スポンサーの獲得が難航していて開幕からの実施には至っていないが、引き続き実施できるよう各方面に働き掛けている。他局との共同実施は各局の事情もあるので今後の課題としたい。

・「放送番組編集基準」・「同編集基本計画」の分類については同一番組で複数に渡っている例もあるので一概には申し上げられないが、監督官庁に提出している文書があるので必要があれば今後公表したい。また、各番組担当者には研修時等に提示し理解させるよう指導している。

3. その他

事務局：

次回の開催は4月14日木曜といたく、改めて通知する。